

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●スプリンターズSはグランアレグリアが優勝

10月4日(日)に行われたスプリンターズS(G I)ではグランアレグリア(牝4歳/美浦・藤沢和雄厩舎)が優勝、前走・安田記念に続くG I連勝を果たしました。スプリンターズSがG Iとなった1990年以降、同一年に安田記念とスプリンターズSの両競走を制したのは1991年ダイイチルビー、2013年ロードカナロアに次いで3頭目のこととなります。

### ●C.ルメール騎手がJRA重賞通算100勝を達成

スプリンターズS(G I)でグランアレグリアに騎乗して1着となったクリストフルメール騎手(栗東・フリー)は、史上8人目、現役では5人目となるJRA重賞通算100勝を達成しました。

### ●藤岡康太騎手がJRA通算600勝を達成

10月4日(日)の2回中京9日・第7レースではサトノシャロームが1着となり、同馬に騎乗した藤岡康太騎手(栗東・フリー)は、史上77人目、現役では32人目となるJRA通算600勝(8399戦目)を達成しました。

### ●フロンティア、サングレーザーの競走馬登録抹消

2017年新潟2歳S(G III)の勝ち馬フロンティア(牡5歳/栗東・中内田充正厩舎)は、9月4日(金)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績は15戦2勝で、今後は乗馬となる予定ですが、繋養先は未定です。2017年毎日放送賞スワンS(G II)などの勝ち馬サングレーザー(牡6歳/栗東・浅見秀一厩舎)は、9月10日(木)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績19戦7勝・海外1戦0勝で、今後は北海道新冠町の優駿スタリオンステーションで種牡馬となる予定です。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●ジャスティンが東京盃(大井)で人気に応えて重賞2勝目

東京盃(Jpn II、10月7日、大井、1200m)は、3番手から残り200mを切った辺りで先頭に立った1番人気のジャスティン(戸崎圭太騎手、牡4歳、父オルフェーヴル)が、ブルドッグボス(浦和)をクビ差抑えて優勝。3番人気のコパノキッキングが3着、ラプタスが4着に入り、ヤマニンアンプリメは7着、ダッシュが付かず後方からの競馬となった2番人気のマテラスカイは11着に敗れています。

### ●レディスプレリュード(大井)でマルシュロレーヌが重賞初制覇

レディスプレリュード(Jpn II、10月8日、大井、1800m)は、7番手から追い上げたマルシュロレーヌ(川田将雅騎手、牝4歳、父オルフェーヴル)がゴール前150m地点で差し切り、1番人気に応えて重賞初制覇を果たしました。3番人気のマドラスチェックが3馬身差の2着、プリンシアコメータが3着、2番人気のレーヌブランシュは4着、シネマソングスは7着でした。

### ●南部杯に連覇を目指すサンライズノヴァら豪華メンバーが集結

マイルチャンピオンシップ南部杯(Jpn I、10月12日、盛岡、1600m)は、サンライズノヴァ、ゴールドドリーム、ワイドフェアラオ、アルクトス、インティ、モズアスコット、ワンダーリーデルの順に有力視されます。

### ●ラストリージョらが参戦、10月15日のエーデルワイス賞(門別)

エーデルワイス賞(Jpn III、2歳牝馬、10月15日、門別、1200m)は、JRA所属馬はラストリージョ、ミコブラック、ホーキーポーカー、マウンテンムスメという序列ですが、地元のリユニオン、クロリスノキセキ、ラジアントエンティが強敵となりそうです。  
※最新の開催情報は各主催者のホームページ等でご確認ください。

## ★海外競馬ニュース 文・秋山響★

### ●G1凱旋門賞～地元のスットサスが優勝

10月4日にフランスのパリロンシャン競馬場で行われたG1凱旋門賞(3歳上牡牝、芝2400m)は3番手でレースを進めたスットサス(牡4歳、父シユーニ)が残り200mを切った辺りで先頭に立つと、今年の独ダービー馬インスウープの追い上げをクビ差退けて優勝しました。史上初の3勝目を狙ったエネイブルは直線で伸びを欠いて6着。日本のディアドラは8着でした。勝ったスットサスは昨年G1仏ダービー(芝2100m)を制して、G1凱旋門賞は3着。今年は6月のG1ガネー賞(芝2100m)を勝っていました。鞍上のC.デムーロ騎手、管理するJ.C.ルジェ調教師はともに初制覇です。

### ●G1ブリークネスS～牝馬スイススカイダイバーが制す

米国メリーランド州のピムリコ競馬場で10月3日にG1ブリークネスS(3歳、ダート1900m)が行われました。コロナ禍にあって、約4か月半遅れとなり、米三冠の最終戦として開催された今年のレースを制したのは牝馬のスイススカイダイバー(父デアデビル)。ケンタッキーダービー馬オーセンティックとの激しい競り合いをクビ差で制して、2009年のレイチェルアレクサンドラ以来、史上6頭目となる牝馬による優勝を果たしました。スイススカイダイバーは今年8月のG1アラバマS(ダート2000m)でG1初制覇。続く9月の前走G1ケンタッキーオークスは2着でした。鞍上のR.アルバラード騎手は2007年のカーリン以来の2勝目、管理するK.マクビー調教師はこのレース初制覇となりました。